

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所：横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4階 開所時間：9時30分～17時

E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306

参加団体 (5月末) ◆ 正会員 87団体 ◆ 賛助会員 11団体



◀ HP



◀ Instagram



◀ Facebook

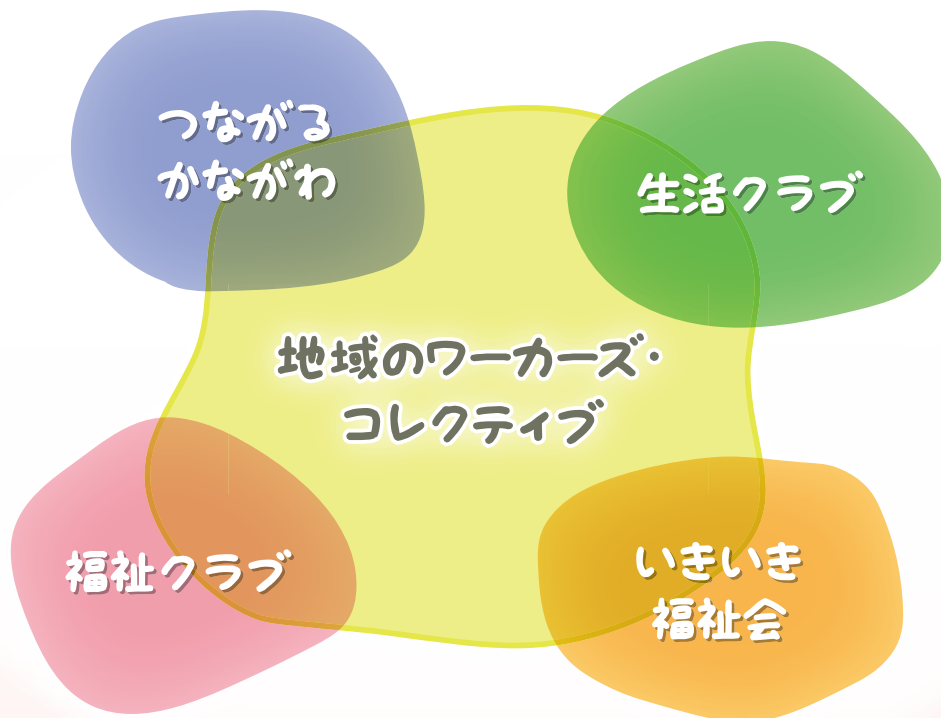
Contents

- おおぜいで『連帯』 新たな『かながわの未来図』を描きます
- 先行実施4項目 取組報告
- 居場所づくり・学習支援事業をさらに拡大
- 「共生型居場所ネットワーク構築事業」が県のボランティア活動補助金事業に採択

おおぜいで『連帯』

新たな『かながわの未来図』を描きます

「人」を真ん中に。組織の壁を越えて、
新しい「ケアのカタチ」を広げよう！



迫りくる超高齢社会に向け、誰ひとり取り残さない「インクルーシブな社会」を目指して、2025年度に神奈川の生活クラブ運動グループで「参加型福祉の新たなビジョン※」が策定されました。そしてビジョンの実現に向けて、地域のワーカーズ（以下W.Co）とつながるかながわ、生活クラブ・福祉クラブ・いきいき福祉会の連携による機能の総合化の取り組み「総合化プロジェクト（以下、総合化PJ）」がスタートしました。今後は各団体の自立をベースとして広報などを総合化し、連携力を最大限に活かしていきます。

これまでの組織の枠組みをひょいっと越えて、もっと自由に、もっと力強く手を取り合っていきたいと考えています。現場の知恵と想いがつながれば、地域はもっと面白くなるはず。新しいビジョンの実現に向けて、共にワクワクする地域社会を創っていきましょう！

※自分たちの暮らし・まちを自分たちでつくる「参加型福祉」構想を、未来に向けて再構築したもの。介護にとどまらず、食・農・子育て・教育・居住・就労など、生活に関わるあらゆる領域をカバーする。

先行実施4項目 取組報告

総合化PJの取り組みの中で、早急に対策すべき4項目「福祉情報・研修・人材交流・広報」は、他の項目に先駆けて2025年度から試行を始めています。

「らくらく情報ナビ」・「法定研修」は2025年10月から4か月間、「人材交流」は横浜市エリア限定で、2026年2月から3か月間、トライアル実施を行いました。トライアルでは、現場の皆さんから確かな手応えと、たくさんの未来へのヒントをいただきました。本当にありがとうございます！

ここでは取り組みの詳細をご報告します。

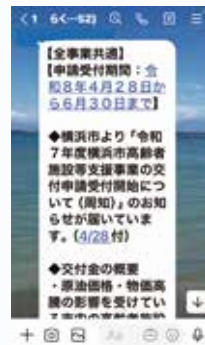
1

らくらく情報ナビ

現場に届く大量の福祉情報を読み解く負担を減らし、知りたい情報を選んで届けます。

どんな試み？

大量の行政通知や福祉情報をつながるかながわ事務局で収集・峻別し、LINEで現場へ届ける。



トライアルでは？

186件の情報から重要度の高いもの9件を厳選してLINEで通知した。必要情報を見逃さないための基盤づくりが進んだ。

今後は…

PC版LINEを導入するなど、LINEによる福祉情報のお知らせを日常業務に定着させる。

利用してみて

「日々大量に届く福祉情報には、一応全て目を通していますが、重要なものを見落としていないか常に不安がありました。しかし、今後はLINEで確認することができて安心感があります。」

(W.Coメロディー 平野さん)

2

人材交流

組織の壁を越えて、「お互いさま」で働ける仲間をスマホひとつで見つけられる——地域まるごと、みんなで支え合う働きかたにチャレンジ！

どんな試み？

LINEオープンチャットを活用し、W.Co間での柔軟な人材マッチングを図る。

トライアルでは？

リスク管理を含めて運用ルールを整理し、横浜エリアでの試行に臨んだが、参加が進まなかった。

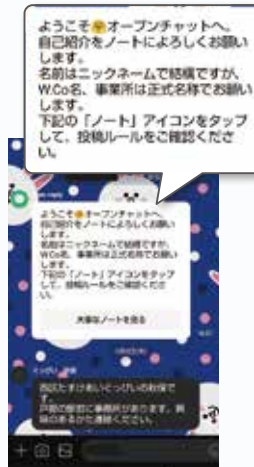
今後は…

トライアル結果を踏まえ、なぜ人材不足が起こっているのか、その背景を今一度掘り下げ、実効性のある対策を検討する。

利用してみて

「事務局として関わりましたが、とても面白い取り組みだと思います。ただ、オープンチャットへの参加自体にハードルが高い方が多いので、もうひと工夫必要だと感じています。」

(W.Co Largo 田中さん)



3

法定研修の総合化

介護事業の経営に直結する「法定研修」の負担を軽減。研修の受講→記録→実地指導の対応までをスマホ一つでスマートな管理に。

どんな試み？

各事業所が個別に行っていた法定研修を、共通教材を活用して合同で行う。

トライアルでは？

教材の共有によって効率化が実現できた。一方で学びの質の向上や記録管理の必要性など、課題も明確になった。

今後は…

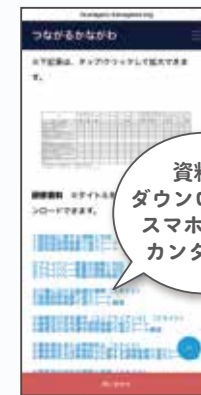
研修デザインの新構築とICT活用による事務業務の軽減を進め、地域全体の人材育成力を高める。

利用してみて

「法定研修の資料・報告書にはいつも悩んでいました。自分たちがわかりやすい内容の資料を使っていたので、スキルアップにつながりにくのが課題でした。」

先行して取り組んだ「参加型福祉の新たなビジョン～4つの優先分野～」の法定研修の資料・報告書は内容も充実していて、報告書も感想だけではなく問題形式になっており、身につく研修ができるようになりました。」

(W.Coたすけあいぐっぴい 秋保さん)



資料のダウンロードもスマホ画面でカンタンに！

4

広報 Map

私たちの「居場所」を、地域の宝物としてマッピングしよう！地図を開けば仲間がいて、地域のたすけあいがある。

どんな試み？

各W.Coの拠点をGoogle Map上に可視化し、認知向上と相互交流につなげる。



今後は…

1. ワークスを知ってもらう
 2. 組合員とワークスが交流する
 3. 共に地域を豊かにする活動をすすめる
- そのためのツールとして活用を広げていきたい。

事務局 まとめ

2025年度のトライアルを通じ、情報の精査や教材共有による効率化など、一定の成果が確認されました。一方で、個人スマホ利用への抵抗感や、資料配布に留まらない「学びの質」の確保など、ICTインフラ整備と運用ルールの課題も明らかになりました。これらを踏まえ、2026年度はつながるかながわ事務局のハブ機能を強化し、単体事業所では難しい仕組みづくりを共同で進め、実践していく段階に入ります。

居場所づくり・学習支援事業をさらに拡大

ワーカーズ・コレクティブ協会は、生活クラブ神奈川、さがみ生活クラブ、湘南生活クラブとの共同企業体で、生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業等を受託しています。地域市民である組合員が参加することで、制度だけではない「まちづくり」として、県内自治体からの評価が高まっています。

2026年度はいよいよつながるかながわへの本格的な事業統合が始まります。つながるかながわへ一部の事業の移管をはじめつつ、新たに1月から大和市こもりびと居場所づくり事業、4月から足柄上郡の学習支援事業の受託が決定しました。

1月スタート!

居場所づくり事業

こもりびとの居場所 ～こもりび～

開所日：毎週土曜 13:30 ～ 16:30
会 場：大和市保健福祉センター



大和のスタッフ。左から竹中さん、島崎さん、定廣さん、前田さん、我妻さん

大和市ではこもりびと支援条例をつくるなど、独自にひきこもり支援をしています。市に相談に来た方達の居場所として、これまで月に1回開催していましたが、この1月からは、委託事業として毎週土曜に開催しています。「みんなの居場所ここから」スタッフが支援に入り、3か月間で登録利用者が15人となりました。

利用者さんが好きなように過ごせるフリーコーナー、社協さんからの簡単な作業コーナー、トランプやオセロなどのゲームコーナーがあり、月1回のイベントでは、たこ焼き作り、お抹茶を点てて桜餅をいただくなど楽しんでいます。



広い和室で、利用者さんが思い思いの場所で過ごしています



足柄のスタッフ。左から浅見さん、柏木さん、原田さん、加藤さん（ボランティア）



教室でボランティアと一緒に学習

4月スタート!

学習支援事業

わらわら・あしがら

開所日：毎週木曜 17:45 ～ 19:45
会 場：松田生涯学習センター

足柄上郡は開成町、松田町、山北町、中井町、大井町の5町にまたがる地域です。足柄下郡（箱根町、湯河原町、真鶴町）ではすでに「わらわら・ゆがわら」で学習支援を受託しています。足柄上郡で受託していた団体が撤退することになり、わらわら・ゆがわらに応募依頼が来しました。

貧困の連鎖を防ぐためにも学習支援はとても重要です。時間がない中で湘南生活クラブがスタッフを急募し、応募締め切り当日に人が見つかり、プロポーザルを提出、受託が決定。名称は「わらわら・あしがら」になりました。

「共生型居場所ネットワーク構築事業」が県のボランティア活動補助金事業に採択

昨年9月につながるかながわ理事会で提案された「共生型居場所ネットワーク構築事業」が、神奈川県「かながわボランティア活動推進基金21」の補助事業に採択されました。この事業は、居場所活動を行う各地域のW.Coと共に、地域に点在する居場所を有機的につなぎ、孤立の予防と早期支援につなげる試みです。

審査会からは「本事業が地域の活動団体に対して協同労働というひとつの新たな選択肢を提供し、また地域の多様な主体を結びつける公共的基盤として成熟し、再現可能なモデルとして発展していくことを期待します」というコメントを頂きました。つながるかながわは、協同労働のネットワークを活かし、W.Coの公共的価値を広げています。



つながるかながわの事務所は、8月に馬車道からオルタ館に移転します。37年分の懐かしい資料や思い出の品が色々でてきて、これまでのワーカーズ・コレクティブの歴史を振り返りながら引越し作業を進めています。(田中入馬)

<編集・デザイン>企業組合エコ・アド